

## Swift の AI イノベーション、国境を越えた連携で銀行が不正検知を迅速に行うためのモデルを示す

- Swift と国際銀行 13 行が、1,000 万件のテスト取引を用いた実験でリアルタイムの不正検知が 2 倍に向上
- プライバシー強化技術により、金融機関はエンド・ツー・エンドのプライバシーとセキュリティを維持しながら取引データの共有を実現
- この技術の大規模な活用により、グローバルな金融業界全体で連携した不正防止が可能になり、犯罪への対処の迅速化と、業界の不正関連コストの大幅な削減が期待される

**2025 年 9 月 15 日 ブリュッセル発** - Swift が主導する画期的な実験により、AI と国境を越えた安全なデータ連携が国際決済における不正レベルの低減に効果をもたらす可能性があることが実証されました。

この実験では、グローバルな金融機関 13 行と協力し、プライバシー強化技術（PETs）を活用して、金融機関が不正行為に関する情報を、国境を越えて安全に共有できるようにしました。ユースケースのひとつでは、PETs により参加機関が疑わしいアカウントの情報をリアルタイムで検証できるようにしました。これにより、複雑な国際金融犯罪ネットワークの特定にかかる時間を短縮し、不正取引の実行を未然に防ぐことが可能となります。

別のユースケースでは、参加機関は PETs と連合学習（AI モデルが各機関を「訪問」し、そのデータを使ってローカルに学習することで、各機関が顧客情報を共有することなく連携できる）の組み合わせを用いて、異常な取引を検出しました。このモデルは、参加機関間の 1,000 万件の人工的な取引から得た合成データで学習しており、単一の金融機関のデータセットで訓練したモデルよりも既知の不正事例の検出で 2 倍の効果を示しました。

**Swift の AI 責任者、レイチェル・リーヴァイ**は次のように述べています。「これらの実験は、グローバル金融の中核を担う、信頼のおける協同組合としての Swift の結集力を示しています。業界全体で統合された不正防止策は、単一機関のみで講じる対策よりも常に強力です。業界は毎年、不正行為により何十億もの損失を被っていますが、国境を越えてインテリジェンスを安全に共有できるようにすることは、この額を大幅に削減し、不正行為を数時間や数日ではなく数分で阻止できるようになる可能性を開くものです」

Swift はこれらの実験の成功を受け、参加機関を拡大したうえで第 2 フェーズのテストを開始する予定です。第 2 フェーズでは実取引データを用い、現実の不正行為に対する技術の効果の実証を試みます。

---

Swift は長年にわたり、業界と協力し、最新技術を活用して共通の課題を解決し、国境を越えた取引のスピード、効率性、安全性を高めてきました。Swift は、AI が果たし得る役割を積極的に探求しており、現在、50 以上の概念実証、パイロット、実運用のユースケースがあります。金融犯罪は、2023 年だけで業界に 4,850 億米ドルの損害を与えたと推定されています。今年初め、Swift は AI を強化したペイメント・コントロールズ・サービスを開始しました。このサービスは、中小規模の金融機関が疑わしい取引をより正確に検知し、リアルタイムで対処できるようにするものです。

今回の実験には、ANZ、BNY、インターザ・サンパオロのほか、Google Cloud などのテクノロジーパートナーが参加しました。

**ANZ のペイメントサービス・デジタルアセット部門テクノロジー責任者、デヴィッド・バックソート氏**は、次のように述べています。「不正行為や詐欺の増加は、あらゆる金融機関に影響を与える世界的な課題です。ANZ は、検出能力の強化に向けた連合学習の有用性を実証する業界全体での取り組みに参画できることを嬉しく思います。これにより、銀行は不正行為に対する防御を強化することができます」

**BNY のエグゼクティブ・プラットフォーム・オーナーであるイザベル・シュミット氏**は次のように述べています。「クロスボーダー決済ではセキュリティが最も重要です。この実験では最新技術を駆使することで、これらのツールがどのように業界全体のエコシステムを向上させ得るかを示す成果を上げました。また、競争関係にある組織を一つにまとめ、より大きな目的のために協力させる Swift 協同体の価値を実証するとともに、セキュリティ基準を高め、全てのステークホルダーの体験を向上させています」

**インターザ・サンパオロの不正防止・顧客保護センター責任者、エンリコ・カンナ氏**は次のように述べています。「クロスボーダー送金における不正行為は、エコシステムの摩擦を増大させ、業界レベルで多大なコストを招きます。インターザ・サンパオロは、エコシステムをより安全で信頼性の高いものにする最新技術を活用した、Swift が主導するこれらの予備実験に協力し、相乗的アプローチの効果を実証しています」

### **Swift（国際銀行間通信協会）について**

Swift はメンバーによって保有されたグローバルな協同組合であり、安全な金融メッセージングサービスを提供するリーディングプロバイダーです。Swift は金融コミュニティに対し、通信に必要なメッセージングおよびその標準化を支えるプラットフォームのほか、決済ネットワークへのアクセスやシステムの統合・連携、識別、分析、規制コンプライアンス等にかかる製品およびサービスを提供しています。

Swift は 200 を超える国と地域における 11,500 以上の銀行、証券会社、市場インフラ、事業法人等をつなぐ通信プラットフォーム、および各種製品・サービスを提供しています。Swift 自体は資金を保有せず、顧客の口座を管理することはありませんが、コミュニティのユーザーが標準化された金融メッセージを安全かつ確実に交換できる手段を提供することで、世界中の金融取引や貿易・商取引を支えています。

Swift は信頼できるプロバイダーとして卓越した運用を絶えず追求し、コミュニティに対しサイバー攻撃への対処を支援しています。また、コスト削減、リスク軽減、業務効率の改善に常に取り組んでいます。Swift の製品およびサービスは、コミュニティ内のアクセスと統合、ビジネス・インテリジェンス、リファレンスデータと金融犯罪コンプライアンスへの対応をサポートしています。さらに、Swift はグローバル・地域・国内レベルで金融コミュニティを結びつけ、市場慣行の形成、標準化、共通の関心事項に関する議論を推進しています。

ベルギーに本部を置く Swift は、国際的なガバナンスと監督体制を通じて、共同組合のグローバルな包括性を強化しています。また、グローバルなオフィスネットワークを通じて、世界中の主要な金融センターで積極的に活動しています。